広報 つなぎ
昭和63年 10月 No.273
発行／津奈木町 編集／企画課 印刷／水俣旭印刷所

人口と世帯（9月1日現在）人口6,102（＋17）・男2,927（＋13）・女3,175（＋4）・世帯1,731（＋3）　（　）内は前月との比較

役立つカードです

町総合医療サービス17日よりスタート

本町では、昭和五十九年度から老人保健法に基づく事業として、四十歳以上の方々を対象に、熊本大学医学部等の協力により、他の市町村に類を見ない高度な一般住民検診を実施してきました。

この五ケ年分の個人データを国立水俣病研究センターの大型コンピューターに入力、同コンピューターと役場及び町内二医療機関（松本・六車医院）に備えた端末機を専用回線で結び、個人所有のカードで個人データを出力させ診療に役立てようという総合医療サービス事業が十月十七日よりスタートします。

これにより初診時の個人の健康状態をすばやく知ることが出来、より効果的な診療や、早期発見、早期治療により、医療費の節減にもつながると思われます。

町では、初年度の利用率は一五～二〇パーセントと推計していますが、水俣市等の参加医療機関が増えれば、最終的には五〇パーセント以上まで上昇すると期待しています。

又、個人の秘密が守られるよう資料の取り出しも個人カードがなければ出来ないようになっておりこの他にも秘密が洩れることのないように十分配慮してあります。

この「健康カード」の言旨をご理解の上、御利用下さい。

※総合医療サービス事業に関してのお問い合せは、役場町民課衛生係（七八・三一一一）まで。

一般住民検診の結果をインプットします（眼科検診・平国小）

▲10月18日からこの健康カードが利用できます。
白いシールにご自分で署名し裏面におはり下さい。

追悼 岩野勇三展

朝日新聞（昭六三・八・三一掲載）より

写実に徹し朴とつに刻んだ

時代にも自分にも媚びず

目と手を通して現実を解剖してきたような彫刻家岩野勇三。アトリエに酸素吸入器を持ち込んで最後の作品「牧歌」を仕上げると同時に五十六歳の生を終えた、その壮絶な死からちょう度一年（26日）。故人がすべてを託した師佐藤忠良氏が選んだ遺作展「追悼岩野勇三展」が東京・銀座三ノ一〇ノ一九、現代彫刻センターで開かれている（9月9日まで、日曜休み）。

岩野は師佐藤同様、洋臭を離れた日本人の体感を表現しようと頑固一徹、地味な具象彫刻に真正面から取り組んできた彫刻家だった。初期の「母」から裸像「あい」「みわ」、首像の「あさこ」など岩野の古朴清純なしっとりとした遺作をみていると、この彫刻家が個性とか芸術とかに驀々しい時流には目を向けず、時代だけではなく自分にもいっさい媚（こ）びていないことがよくわかるのである。

その作品は洗練というよりもっと深い彫刻への初々しい心の向かい方に根ざした美しさをもっている。

高校時代から佐藤氏に師事した岩野は、観念や知識で彫刻に向かっているのではなく、彫刻を刻むことによって知恵を養い知識を得てきた彫刻家であったと思う。十五年ほど前はじめて岩野をアトリエにたずねた際、「うまくなりたいです」「裸体を作っても、どうしても首や手足を切れないのです」などといわれ、写実一筋の朴とつさに驚かされた記憶がある。岩野は写実を通り抜ける手段としてよりいっそう緻密（ちみつ）な写実に徹していたのだろう。やがて佐藤氏に「バランスを失うと鼻もちならぬ俗な作品になるすれすれのところを勇敢にやってのけるあたり、彼はあっぱれ低空飛行の名手である」といわしめる世界にのぼりつめた。本などによる知識だけを頼りにしたり、個性的だけの多様さに気をひかれて制作するということとはなく、常に具体的な「もの」が制作発想の動機になっている。

岩野の肉眼を通して実感したものがしっかりと作品に存在しており、具体的な実感の深さが、その具象彫刻を生きたものにしている。会場に立ってみると裸像の「くみ」も「あい」も抑制のよくきいた作情で、感覚的な美しさだけに片寄った造形でも、知的な造形の興味だけに傾いた彫刻でもない。その剛直、端正さも岩野が生きぬいてきた十六年の生涯あり方にかかっている事柄に思える。

岩野の生き方がそうだったから作品が端正になったのか、いや、むしろ彫刻が端正だったから岩野の生涯も端正に貫かれたのだろうと思える。

亡くなる一カ月前、佐藤氏をたずね、がんであることと仕事の残り時間を告げた。さらに最後の作品の仕上げの指示を電話で求めて石膏（とう）作業を終えた、と師佐藤氏から聞いた。その「もみ手を嫌う」（佐藤氏）造形精神のあり方が、岩野勇三をつくり、澄んだ人生をつくったともいえると思う。

彫刻がそれだけの威力を持つと信じたからこそこの人は彫刻家になったのだろう。

早すぎた死は、もう一人のこれからの々佐藤忠良氏を失った、と感じさせる写実彫刻群なのである。

（米倉 守編集委員）

作品 りかII 1984

就任挨拶

岩城駐在所 西村正博

この度の異動により、熊本北警察署から水俣警察署岩城駐在所に参りました西村正博（三十二才）です。

出身は、八代で、家族は、妻（三十二才）長男（小一年）二男（三才）三男（〇才）の五人家族です。

趣味は、魚釣りと最近是えたヘボ将棋、その他諸々。

スポーツは、剣道少々、柔道ひとかじり、バトミントン、卓球……色々やりますが、これといって得意とする種目はありません。下手の何とかです。

「津奈木は、とっても良い所だ」と向人もの人から聞いて来ましたが、まったくその通り、人情豊か、自然がいっぱいで、空気がきれい。すっかり津奈木町が、好きになりました。

私は、この津奈木町を良くし、町民の皆様の為になる活動を展開したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

各種相談事、苦情等は、駐在所へお気軽にどうぞ。

町政に若い力を！

町職員募集

昭和六十三年度津奈木町職員採用試験を次の要領で行ないます。

一、試験職種及び採用予定人員等

職種	採用予定数	勤務先及び職務内容
一般事務	二名程度	長部局・教育委員会事務局に勤務し、一般事務に従事する。
土木	二名程度	長部局に勤務し、専門の技術業務に従事する。

二、受験資格
昭和四十年四月二日から昭和四十六年四月一日までに生まれた者
その他（職員採用試験実施要領参照）

三、受験手続
1.受付期間
昭和六十三年十月一日（土）から十月十五日（土）まで（日曜日・祝日を除く）郵送の場合は、十月十五日（土）までの消印のあるものに限り受付ける。受付時間は、午前八時三十分から午後五時まで（土曜日は正午まで）
2.申込先
津奈木町総務課 電話〇九六六七八ー三一一一（内線二一三）
所在地 熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木二一三
㊡八六九ー五六
3.申込手続
津奈木町発行の申込用紙に必要事項を記入して、前記申込先に郵送又は持参すること。

四、試験の日及び場所

試験	日時	試験場
第一次試験	昭和六十三年十一月六日（日）午前八時三十分	津奈木町役場

五、試験の内容
第一次試験
○ 教養試験　高校卒業程度
○ 適性試験（土木のみ）
○ 専門試験
○ 作文試験
六、試験についての問い合わせ先
津奈木町総務課
電話〇九六六七八ー三一一一（内線二一三）

町民体育祭 10月9日（雨天時は10日）

秋空の下みんなで参加しよう！
場所　津奈木町総合グラウンド
入場式　8時30分
競技開始　9時15分

27 青春門

溝部 智香さん（B型）
S43.8.6生まれ 20歳

仕事の話しを
熊本市から帰ってきて今は家事手伝い兼ファミリーショップ山崎でバイトしています。

TVに出た感想を
TKUの々なんとも高感度々にレポーターとして出ましたが、緊張して、いつもの自分がどこに行ったのかわからなくなりました。

スポーツは何を
毎週火曜日と金曜日、バトミントンをやっています。

旅行は好きですか
好きです。近い将来オーストラリアに行って広い芝生の公園にねころがってみたい。

理想のタイプは
やさしくて……お金持ち。

結婚はいくつで
いまでもすぐいいんですけど……。

昭和63年7月診療分医療費速報

	一般	県下の順位	退職者	県下の順位	老人保健	県下の順位
受診者数	979人		157人		384人	
受診率	137‰	6	142‰	41	154‰	4
一人当り医療費	29,526円	23	28,667円	71	60,463円	63

津奈木町国民健康保険

12年間の奉仕

ありがとう老友会

津奈木町老友会（斉藤治会長）で、毎年恒例の奉仕作業として、先月二十日の早朝から、干拓二本桜の植わる長さ約二キロメートルの堤防の草刈りを行なっていただきました。

昭和五十二年に老友会で植付けた三百五十本が始まりとなって干拓桜も現在では千四百本近くとなり、管理面でも、かなり手がかかるようになったため、今年で十二年目になるこの老友会の奉仕作業は町にとっては大変ありがたいことです。

春の到来とともに、きっとみごとな花を咲かせてくれることと思います。

老友会の皆さん、ほんとうにご苦労様でした。

津奈木町国民健康保険 健康優良家庭表彰

国民健康保険（二三一世帯の内次の四二世帯が、昭和六十二年度を通して診療を受けなかった世帯です。九六・三%の世帯が診療を受けているなか、この一年間健康の保持に努められた国保事業の発展に寄与された功績で、一〇月九日町民体育祭の会場で表彰します。

該当者は必ずご出席下さい。

昭和62年度　受彰者名簿

地区	世帯主氏名	地区	世帯主氏名
竹中	高塚　好	古中尾	福本留人
〃	丸山モノ	倉谷	福田良雄
〃	松永未義	〃	森下　一
〃	山崎一光	内野	田上秋義
〃	山崎秀男	〃	林田國男
染竹	浦上セキ	川内	北岡あつむ
〃	松永福蔵	福浦	平野次善
〃	山下和伸	〃	福山ツルエ
浜崎	林　ミカ	平国上	野崎ハルコ
桜戸	浦口　茂	〃	村上次義
〃	松本健次郎	平国下	長濱和行
町中	元村秀喜	〃	濱田ツヂ子
〃	山本傳喜	〃	福山正一
古川	荒木ヒサヲ	〃	松本キエ子
〃	森下國己	日当	上村武春
〃	山本チヅエ	〃	上村繁喜
大泊	松田スエ	日添	諫山ノ　仁
〃	柳迫初一	〃	諫山山　侃
中尾	川野治喜	〃	鶴田スヤ子
〃	竹田春子	〃	林田敬子
古中尾	長原哲夫	小津奈木	岡本ユイ子

お知らせ

十月の行事

一日　町職員採用願書受付開始（一五日まで）
二日○各小学校運動会
○胃集団検診（六日まで）
四日　戦没者追悼式
午前〇時（改善センター）
五日　ポリオ生ワク投与
七日　子宮ガン・乳ガン検診（一四日まで）
九日　町民体育祭陸上競技大会（雨天の場合一〇日）
一七日　総合医療システム開始
二〇日　県立美術館移動美術展
二三日まで（改善センター）
三〇日　福祉スポーツ大会

衛生係より

ポリオ・生ワクチン投与

後期急性灰白髄炎（ポリオ）生ワクチン投与
次の日程で予防接種を実施しますので、母子健康手帳及び印鑑御持参の上、ぜひ受診下さい。
一実施日時
昭和六三年一〇月五日（水）
午後 時三〇分～二時
二実施場所
津奈木町改善センター
三対象児
昭和六二年七月一日～昭和六三年六月三〇日までの出産児

福祉係より

老齢福祉年金証書をお返しします

老齢福祉年金受給者の皆様から八月にお預りしました「老齢福祉年金証書」の金額記入が終了しましたので次の日程によりお返し致しますので、印鑑と保管証（預り証）を忘れずに御持参下さい。
日程と会場
○津奈木校区
昭和六三年一〇月二〇日
午前九時～午前一二時三〇分
中央公民館和室
○赤崎校区
昭和六三年一〇月二一日
午前九時～午前一二時三〇分
赤崎漁村センター
○平国校区
昭和六三年一〇月二二日
午前九時～午前一二時三〇分
平国コミュニティセンター
なお、以上の日程で各会場で受け取ることができない方は、一〇月二二日から一〇月三一日の間で、役場町民課までおいで下さい。

農業委員会より

農地にも日照権を

農業委員会におきましては「農地を守る」という基本的な考え方を基に、日照をさえぎり、作物の成育を阻害する農地沿いの障害物調査を去る七月に一部の地域を除いて実施いたしました。

調査の結果では、防風林等が必要以上に高く伸び、隣の農地に迷惑を掛けているのが見受けられましたので、迷惑を掛けないよう指導行いました。

迷惑を掛けている障害物は、自主的に除去しましょう。

日照権問題で尋ねたいことがありましたら、地元の農業委員さんへ御相談下さい。

募集

自衛官

一、募集区分
二等陸海空士
二、応募資格
日本国籍を有する一八～二五歳未満の者及び、来春高校卒業予定者
三、身分　国家公務員（特別職）
四、給与
月額一二一、四〇〇円　賞与年三回（四、九ケ月分）
昇給年一回
詳細については、水俣募集事務所（TEL六三一五八六三）までおたづねください。

危険物取扱者講習会

一、日時　昭和六十三年十一月十日（木）九時～六時まで。
二、場所　水俣市公民館（三階研修室）
三、申込期間
昭和六三年一〇月二一日～一〇月三一日まで。
四、申込先
水俣声北消防組合消防本部
予防課危険物係まで
詳細については、消防本部（TEL六三一二一九）へ

紹介

人権擁護委員
内野　田上一智様が推せんされました。昭和六四年一月　法務大臣から、任命される予定です。

教育委員選任
九月定例町議会におきまして、教育委員として
内野　田上一智様
古川　山下　和様　が選任されました。

交通指導員
浜崎地区の吉川　敬一様を九月十九日付けで町交通指導員に委嘱しました。街頭指導等に大変お世話になります。

職業安定所より

労働省・熊本県・公共職業安定所では、一〇月を高年齢者雇用促進月間と定め、高年齢者の雇用促進運動を集中的に実施します。

農業委員会におきましては、一人でも多くの高年齢者が働く場を得られるよう、市民、事業主の方々の御理解と御協力をお願いします。

なお、職業安定所では雇用を促進するために、各種の助成を行なっておりますので、お気軽に御相談下さい。

九月の発注工事

○民有林林道開設（石木田線）
事業費　二〇、七五〇千円
事業量　延長五二〇m
工期　六四年一月一日まで
業者　㈲大英建設
○塩鶴三峰線改良舗装工事
事業費　一一、六〇〇千円
事業量　延長　八八四m
工期　六四年一月二〇日まで
業者　江口建設工業㈱
○下川内線改良舗装工事
事業費　三、〇〇〇千円
事業量　延長　二八四m
工期　六四年一二月一五日まで
業者　㈲大英建設
○竹中線舗装工事
事業費　一三、〇五〇千円
事業量　延長五四〇m
工期　六三年一二月一五日まで
業者　㈲野崎組
○八迫引川内線改良工事
事業費　二二、四〇〇千円
事業量　延長　一一六m
工期　六四年一月二八日まで
業者　㈲大園建設
○新川中尾線舗装工事
事業費　一〇、七五〇千円
事業量　延長　六二〇m
工期　六三年一月二一日まで
業者　南興建設㈱
○地籍調査事業
事業費　一五、二三〇千円
事業量　三・〇八Km²
工期　六三年三月一〇日まで
業者　㈱巣亜建設コンサルタント

ご寄附お礼

○美術品取得基金へ
快気のお返しとして
町中　六車孝吉様
金婚記念として
日当　岩崎愛吉様
香典のお返しとして
倉谷　丸山　勝様
日添　吉野梅吉様
古川　山下　和様
それぞれ多額の御寄附を頂きました。誠に有難うございました。
○町社会福祉協議会へ
町中　六車孝吉様
快気のお返しとして、多額のご寄附を頂きました。心よりお礼申し上げますとともに、本人のご意志に従い、福祉の向上に役立たせていただきます。
○庁舎へ
上下門　斎藤　治様（町老人クラブ会長）より役場庁舎に二台の時計を寄贈していただきました誠にありがとうございました。

ご芳志お礼

地区　世帯主　故人
中尾　今田一人　スギ
日添　吉野梅吉　シゲル
町中　志崎家親族一同　マサヲ
倉谷　丸山　勝　直喜
古川　山下　和　ミチ
右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄附ください。
はご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます
（敬称略）